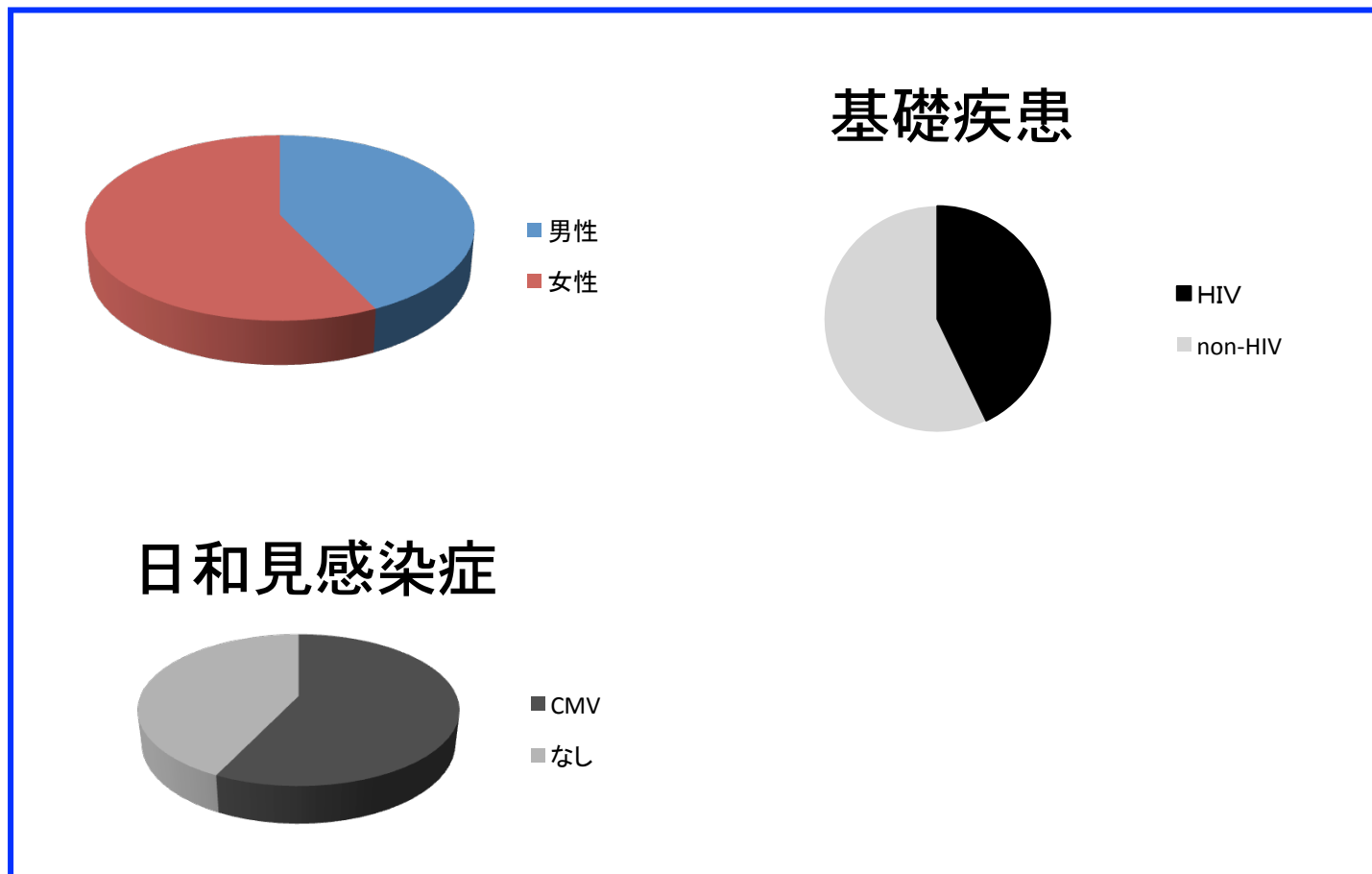


最近の本邦PML臨床調査(2011-2012)

研究分担者: 都立駒込病院 三浦義治



解 説

- 2011年11月から2012年8月まで国立感染研究所へ髄液JCV-PCR検査依頼のあった7症例(髄液中JCV-PCR陽性例)に関して検討した。
- 昨年度の報告に比べて、女性が57.1%とやや多く(昨年度は女性が41.2%)、平均年齢も50.7歳(昨年度は55.9歳)とやや若い傾向があった。
- 画像も従来の報告同様に大脳白質両側性病変で左右非対称性を示す症例が多く、また昨年報告のように大脳萎縮を示す症例が28.6%で(昨年度は29.4%)あった。
- また髄液蛋白増加が5例(71.3%)、細胞増加が1例(33.3%)と髄液異常を示した症例が本年も多かった(昨年度はそれぞれ52.9%, 29.4%)。
- 基礎疾患としてはHIV感染症3例(42.9%)(昨年度は23.5%)、膠原病・結合織病3例と非HIV-PMLがやや多かった。
- また日和見感染ではサイトメガロウイルス感染合併が57.1%と目立った。